

～映画・小説・マンガ・アニメ・音楽～

## 人生を変えたこの作品 第2回

これまでアイドルにはまったことがなかったのですが、ある日突然 K-POP アイドルの BTS に「沼落ち」してしまいました。きっかけは、アマプラです。アマプラに勧められるがまま BTS の曲を聴き、興味を持って YouTube で動画を検索したのが運の尽きでした。

「…ね、ぴったんぬんむる…」と歌い出したジミンちゃんのキラキラのダンスに目を奪われてしまいました。「背中を蹴り飛ばされて沼落ち」というやつです。孤独にダンスプラクティス動画を見続けるうち、「ジミンペン寄りのオルペン」となっていました。

ある日、20 歳も年下の後輩に「BTS を好き過ぎて自分が気持ち悪い」とカミングアウトしたところ、「推し活こそ生き甲斐、恥ずかしながら推し活するべきだ」と熱く「ドルオタ道」を伝授され、衝撃を受けました。彼女が韓国語を話すのを見て、この春からハングルの勉強も始めました。いつか、わたしを沼に蹴り落とした「ぴったんぬんむる」を、韓国語で歌えるようになりたいです。

(執筆：ぼんさん 451 字)

BTS「血、汗、涙 Blood Sweat & Tears」  
(BTS JAPAN OFFICIAL FANCLUB HP より)



～ステップアップあみ部プレゼント～

## ハンドメイド作品ご紹介 第2回

基本のあみ方を覚えると、小さなものから大きなものまで、自分の手でつくるができるようになります。「手づくりの楽しさ」「ものづくりの楽しさ」を知ってもらいたい！と考えた、編み物チームのみなさんと、子ども向けのあみもの教室を企画しています。この企画を機に、「ステップアップあみ部」という名前を考えて、ロゴも作ってみました。

初めて針を持った子どもでも「ガーラント」を完成させられるよう、あみ部メンバーで素材を作っているところです！

(取材：そーさぼだより編集部)



～ウチの子自慢～

## ソラチ日記 第2回



こんにちは。ねこのソラチです。

あの、ぼく、「たこやき」にみえますか？

さっき、みーちゃんに「たこやきみたいでかわいいね」っていわれたので。。

この、とうめいのまあいボウルは、ぼくのおきにいのひとつです。ねこタワーの、たかいところにあるので、にんげんをみおろせませすし、なによりぼくは、まあくなるのがスキなんです。ぼく、おっきいんですけどね。  
(執筆：みーちゃん 171 字)

～そーさぼだより編集部のひとりごと～

## 編集後記

8月31日にパイロット版、12月31日に第1号を発行してから、5か月が経ちました。どうも、4～5か月置きくらいの発行に落ち着きそうですね。これからも「原稿が集まりしだい」の方針で、ゆるゆると発行します。

この「そーさぼだより」は、ステップアップ支援プログラムに参加するみなさんが発信する場として欲しい、と思って作り始めました。みなさんの寄稿をお待ちしております。パイロット版のテーマの中から、好きな物を選んで執筆してみてください。「自分はこのテーマで書きたい！」という希望がありましたら、編集部までお寄せください。

mail : [ssn.asahikawa@gmail.com](mailto:ssn.asahikawa@gmail.com)

HP : <https://ssn-asahikawa.jimdofree.com>

→ホームページに発行済みの「そーさぼだより」を掲載しています。



NPO法人  
そーさぼ旭川

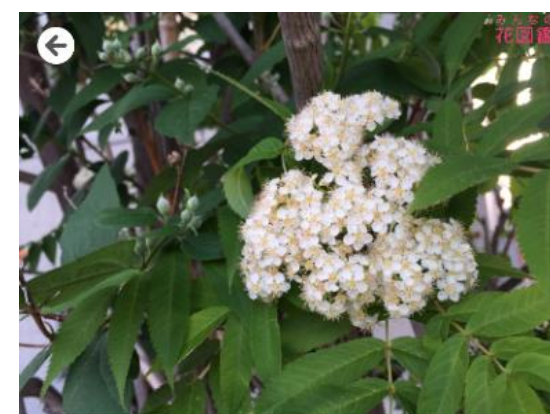
会員募集中だニヤ



～写真で調べるコノハナナニで～

## まちかど花さがし 第3回

この季節になると、市内のいたるところで、この花を見かけます。市役所のホームページによると、ナナカマドの花言葉は「安全」



似ている花候補



ナナカマド  
5～15メートル

17.7%

もっと見る



トキワサザ

だそうです（しかしウィキペディアには「慎重」と書いてありました）。

昭和51年4月1日に、市民の木として制定されたそうで、そのためか、街路樹としてたくさん植えられていますよね。

木に咲く小さな花なので、「コノハナナニ」でわかるかな？と思ったのですが、調べてみると、ちゃんと「ナナカマド」と答えてくれました。

(執筆：ぼんさん 200 字)



## そーさぼだより 第2号

編集：そーさぼだより編集部 (NPO 法人そーさぼ旭川)

発行：令和4年5月31日



プログラム参加者の方が、いま「プログラムに参加しようかな…」と悩んでいる方に贈る、体験談のコラムです。みなさんの「はじめの一步」が、次の誰かの一步につながります。

### カピバラさん (40代女性)

- Q. いつから参加していますか。 A. 2021年秋から参加しています。
- Q. どんなきっかけで、プログラムに参加しましたか。  
A. 就労支援員の方から「こういう集まりがあるから、いかがですか」と言われました。知らない人がいっぱい来ているので、馴染めるかな…と不安がありました。初めて参加するとき、支援員さんが同行してくれました。
- Q. どんな作業に取り組んでいますか。  
A. リサイクル封筒の仕上げと飾りつけです。差出人のゴム印を押したりしています。地味な作業を黙々とするので、やりやすいです。プログラムに参加する前に開催された勉強会に参加していたので、集まり自体は苦にならず、すんなり取り組めました。やりやすい作業を割り当ててもらったので、できています。
- Q. 参加する前と参加した後で、「変わったな」と思うことはありますか。  
A. プログラムの日に合わせて体調を整えています。生活のサイクルを見直すきっかけとなります。日時が決まっていて、その場に行くのは、プラスになると思います。
- Q. 参加しようかどうか迷っている人に、ひとことお願いします。  
A. 自分でできそうなことをやらせてもらえます。あまり難しいものからやると、「きつい」と思うかもしれないので、簡単な作業から始めたらいいと思います。黙々とできる作業なので、自分には合っています。

### TKさん (45歳男性)

- Q. いつから参加していますか。 A. 5年くらい前から参加しています。
- Q. どんなきっかけで、プログラムに参加しましたか。  
A. 就労支援員の方から「こういうのあるけど、どうだい、やってみないかい」と言われました。見学に行くことになり、「できそうかな」と思ったので、参加しました。「自分でもできそうだと思うことが大事だと思います。
- Q. どんな作業に取り組んでいますか。  
A. リサイクル封筒づくりの、糊付けして仕上げる作業をしています。夏場は農作業にも取り組んでいます。農作業はおもしろいわけではないですが、畑が気になってしまうので頻繁に見に行ってしまう。去年は水不足で、一昨年よりも大変でした。作物のできもダメでした。
- Q. 参加する前と参加した後で、「変わったな」と思うことはありますか。  
A. すごく変わったと思います。参加する前は、「1人の世界」に入っている感じがありました。ここに来ると、人馴れして、わりと明るくなりました。人馴れしたことが一番大きいと思います。
- Q. 参加しようかどうか迷っている人に、ひとことお願いします。  
A. あんまり難しく考えないで、参加してみたらいいと思います。自分の性格がそうでした。参加してみたら、「また行こう」と思いました。最初の一步の背中を押す言葉にならないかもしれませんが、「1回やってみたら？」と思います。

「何か始めること」「一步踏み出すこと」って、実は結構難しいですね。馴染めるかな、できるかなという不安を感じるのはあたりまえだと思います。ステップアップ支援プログラムでは、どんな作業ができるか丁寧に確認しながら、できることをひとつずつ増やしていけるのだとわかりました。また取材にお邪魔しますので、よろしくお願いします！ (取材：そーさぼだより編集部)

～ソフトクリーム食べ歩き～

## ここでしか味わえない一本 第2回

(右どなりのコラムからつづきます！→)

ねえさん：疲れたから…ソフト食べない？

U子さん：(にっこり^\_^)

ねえさん：私はミニサイズで十分。U子さん、普通サイズでいいよ。



U子さん、優しいから、私に合わせてくれて同じミニサイズのソフトを食べました。

おいしーいっ！！

7条通7丁目  
「ジャパチーズ」さん  
250円

～ねえさんとお出かけ&インタビュー～

## スマホを捨てよ、町へ出よう 第1回

5月某日、ねえさんは、支援者として関わっているU子さんと2人で、三和緑道商店会を散歩しました。

散歩の目的は、「自分が住む町を知ろう」でした。少し初夏を感じさせる日差しで、おしゃべりしながら次はどこを訪ねてみようか…、などと話しながらの、往復1時間でした。

ねえさん：この辺りは来た事ある？ 買物公園なんだけど。

U子さん：ないです。マルカツ(2条)までが、買物公園だと思っていたから。

ねえさん：こども富貴堂、知ってる？

U子さん：知ってるけど、入ったことはないです。

2人で：こんにちは～。見るだけでも良いですか？

お店の方：大丈夫ですよ～。椅子もあるから、ゆっくりしてね。

U子さん、気になる小説があったようで、次の散歩コースを中央図書館散策に決めました。  
(←左どなりのコラムへつづきます！)

インタビューした人：ねえさん

インタビューされて、写真撮った人：U子さん



～NPO 法人そーさぼ旭川より～

## 法人活動の報告 第2回

「大分・旭川子ども若者支援交流会」

\*開催日時：令和4年4月26日(火)午後2時から5時まで  
\*講師：NPO 法人おおいた子ども支援ネット 矢野 茂生さん

矢野さんは、中学校教諭を経て児童自立支援施設の職員となり、非行少年と呼ばれる子どもたちと寝食を共にする中で、彼らが厳しい家庭環境で育ってきたこと、施設を出たあとも苦しい生活となるリスクが高いことを実感されたそうです。

大分県内で起きた事件をきっかけとして、福祉、教育、医療、行政、地域、そして司法が互いに連携して子どもに対応する必要があるという機運が高まり、矢野さんは県職員を退職し、NPOを立ち上げたそうです。幼児期、学童期、青年期、成人期というライフステージに分断されることなく、子どもたちの幸せを願う包括的な活動をされています。

参加者からは「時間が足りなかった」「テーマを絞って何回かシリーズでお話を聞きたい」との意見が寄せられました。矢野さんに打診したところ、快諾をいただきましたので、今後、zoomを活用した「大分・旭川子ども若者支援交流会ふかぼり篇」を企画したいと考えています。(執筆：そーさぼ旭川 459字)